令和6年度 県立つくばサイエンス高等学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である ☐ B おおむね妥当である ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> 定員割れによる学力差が大きい中、学力の定着を図るため、少人数学習や校内研修等の充実に努め、それぞれの目標達成に取り組む姿は立派である。さらなる授業力の向上を図り、魅力ある学校になるよう努めて欲しい。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	☒ A 妥当である ☐ B おおむね妥当である ☐ C あまり妥当でない ☐ D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の能力に寄り添い学力向上に努め、科目の連携を図り、専門領域への関心を高めていることは素晴らしい。3年次に向け進路指導の確立を進め、生徒・保護者・中学校からの信頼、理解を深めて欲しい。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	☒ A 十分把握している ☐ B おおむね把握している ☐ C あまり把握していない ☐ D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な講演会や外部との連携・コンテスト等への参加をさらに進め、生徒の学習意欲の向上につなげていただきたい。 保護者は授業・進路指導の充実に求めている。学年日より、HP等のさらなる活用により、現状理解をしてもらえるような取り組みを進めて欲しい。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	☐ A 適切である ☒ B おおむね適切である ☐ C あまり適切でない ☐ D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> 「課題研究の魅力」をぜひ中学生(2年生から)・保護者・先生方・地域の方々に発信し、サイエンス高としての魅力をさらに高めて欲しい。 長いスパンで多様な人財を育てて欲しい。
5. その他(各学校の状況に応じて設定)		

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。